

志賀原子力発電所2号機 低圧タービンの 整流板設置工事に伴う検査の完了について

平成20年6月5日
北陸電力株式会社

当社は、本日(6月5日)、志賀原子力発電所2号機の低圧タービンの整流板¹設置工事に伴う検査を完了しましたので、お知らせいたします。

当該工事につきましては、昨年2月12日に工事を開始し、本日、定格出力運転状態において、整流板を設置したタービンの総合的な性能を確認する経済産業省の検査²を受検し、合格しました。

これにより、低圧タービンの整流板設置工事に伴う全ての検査が完了しました。

今後、志賀2号機の第1回定期検査について、経済産業省の総合負荷性能検査を受け、営業運転を開始(定期検査を終了)する予定です。

以上

添付資料：整流板設置の概要

1 整流板：

低圧タービン12段の羽根(動翼、静翼)がある場合と同様に蒸気の圧力を下げるとともに蒸気の流れを整える役割を有する円形状の板。

2 経済産業省の検査：

電気事業法第49条第1項に基づく使用前検査で、工事計画に係る全ての工事完了時に実施される検査。

運転状態において、整流板を設置したタービンの総合的な性能を確認する。

整流板の設置の概要

